

2022年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科／電気工事コース											
テクノロジー基礎 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	若林 恵美			実務経験	無	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校で教員として16年教育に携わる。電気系の保有資格は第二種電気工事士。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、これから電子、電気分野を学ぶ基礎科目についての基礎知識の理解に必要な数学力、応用力をつけることが目的になる。基礎的な計算力から電気回路等の計算に利用できるような応用力をつけ、さらに「電気工事士」、「工事担任者」等の国家資格の受験等に必要な計算力、応用力をつけることがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生が電気について学んでいく過程において基礎となる計算力、国家試験を受験する際に必要となる計算力をつけることを目標としている。電気の基礎科目の中で学んでいく電気現象、電気回路等を理解する上で必要となる電気数学を中心に、国家資格受験の際に必要な計算ができることを目標としている。											
授業方法											
この授業では、電気の基礎を学ぶ上で必要な項目について、計算方法、公式の利用等を解説し、例題、演習問題を通して理解できるように進めていく。また項目ごとに小テスト（確認テスト）を行い、この授業に参加する学生が、電気の基礎を理解でき、国家試験を受験するのに必要な計算力が身につくように進めていく。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業で配布するプリント問題に積極的に取り組み提出する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
電験第3種かんたん数学 / （配布）問題プリント											
回数	授業計画										
第1回	分数計算、平方根を含む計算ができる										
第2回	公式を利用して、式の展開、因数分解ができる										
第3回	指数法則の理解、指数計算ができる										
第4回	対数公式の理解、対数計算ができる										
第5回	行列式、展開について理解、行列式の計算ができる										

2022年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科／電気工事コース	
テクノロジー基礎1	
第6回	行列式を用いて連立方程式を解くことができる
第7回	角度の表し方、三角比について理解する
第8回	三角関数の公式を理解し、三角関数を含む計算ができる
第9回	ベクトルとスカラー、表し方について理解する
第10回	ベクトルの計算（実数倍、たし算、ひき算）ができる
第11回	虚数、複素数について理解する複素数の計算（和、差、積、商）ができる
第12回	複素平面について、ベクトルと複素数について理解する
第13回	複素数の表し方（直交座標形表示、極座標表示）について理解する
第14回	複素数の表し方（三角関数表示、指数関数形表示）について理解する
第15回	全体のまとめ